



復興記念館展示室

関東大震災の惨事を長く後世に伝え、また焦土を復興させた当時の大事業を記念するため、昭和6年に建設されました。館内には震災及び戦災の記念遺品、当時の状況を伝える絵画、写真、図表などが展示されています。

- 入館 無料
(午前9時から午後4時30分)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

〈都立横網町公園〉

- 開園年月日 ● 昭和5年9月1日
- 開園面積 ● 19,579.53㎡
- 催し物 ● 慰霊大法要(毎年3月10日と9月1日)
- 所在地 ● 墨田区横網二丁目3番25号
- 交通 ● JR両国駅西口下車 徒歩10分
都営地下鉄大江戸線A1出口下車 徒歩2分
- 問い合わせ先 ● 横網町公園管理所
Tel. 03-3622-1208
- 発行 ● 公益財団法人 東京都慰霊協会
Tel. 03-3623-1200
- ホームページ ● <https://www.tokyoireikyukai.or.jp/>



2025.5 発行

東京都立 横網町公園

この公園は「横網町公園」という名のほか「被服廠跡」「東京都慰霊堂」「震災記念堂」とも呼ばれています。そのいずれもが、この公園の歴史を物語っています。

大正11年、東京市は陸軍被服廠の移転に伴い跡地を買収し、公園の造成を進めていました。その最中に発生したのが、翌12年(1923年)9月1日の関東大震災です。その時この周辺の人々が被服廠跡に避難しましたが、運び込まれた家財道具に飛火し、折からの風速17メートルの強風に燃え広がり、多数の焼死者が出ました。

遭難者の霊を供養し、さらに東京を復興させた大事業を記念するため、公園内に震災記念堂と復興記念館を建てました。その後、震災記念堂は東京空襲の犠牲者である一般戦災者の遺骨も安置することになり、名称を「東京都慰霊堂」と改めました。



東京都慰霊堂

関東大震災による遭難死者約58,000人の遺骨を納めるために、昭和5年に建てられました。その後、東京大空襲(昭和20年3月10日)などによる殉難者の遺骨もあわせて、現在約163,000体の遺骨が安置されています。毎年、9月1日と3月10日には慰霊大法要が行われます。



慰霊大法要

横網町公園マップ

みんなの公園です。マナーを守ってきれいに利用しましょう。

- 1 犬の放し飼いはやめましょう。
- 2 球技等は危険ですのでやめましょう。
- 3 他の人に迷惑となるような行為はやめましょう。



1 石原町・緑町震災戦災追悼碑



2 日本庭園



3 東京空襲犠牲者を追悼し
平和を祈念する碑



4 永田秀次郎・
東京市長の句碑



5 朝鮮人犠牲者追悼碑

両国駅
to Ryogoku Station

両国駅(遊歩道)
to Ryogoku Station (promenade)

慈光院門
jikouin-gate

震災遭難
児童弔魂像
Statue of Spirit to
remember the children
who died in disasters

慰霊協会事務所
横網町公園管理所
Memorial association
Management office

7 幽冥鐘と鐘楼
Commemorate Bell
and belfry

南門
south-gate

両国駅
to Ryogoku Station



6 震災遭難児童弔魂像



7 幽冥鐘と鐘楼



8 子どもの遊び場



9 震災記念屋外展示場

